

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	3年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	2組
ねらい		・言葉、文字、数量、形などについての基礎的な知識を身に付け、書字につながる手指の操作性を高める。 ・指示に応じたり、「できました」、「手伝ってください」など、教員に報告や依頼をしたりする。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。			
担当教員		吉田 若菜			
年間授業時数		109.8/260.8			
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・よく見て手や指を使おう ・いろいろな言葉や文字、数を知ろう ・自分から伝えよう	○	・手指の操作に関わる活動 「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動 「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習 「大小」「多少」 ・言葉につながる課題 「物の名称」「要求・依頼・報告」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「数の合成」「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・形を見分けることができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数を合成することができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用する。 ・課題をかごに入れて用意しておき、終わったかごをフィニッシュボックスに入れる仕組みにすることで、児童が一人で取り組める環境を整える。
9 10 11 10 12	・よく見て手や指を使おう ・使える言葉や文字、数を増やそう ・よく聞いて答えよう ・本を選ぼう(図書)	○	・手指の操作に関わる活動 「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動 「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題 「高低・長短」など ・言葉につながる課題 「やり取り」(動詞・助詞を使って)など 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」など ・図書室で本を選ぶ	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・好きな本を選んだり、発表することができる。	・児童が主体的に、一人でやりきることができるよう、やり方や手順などについて視覚の手掛かりを用意する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・児童の実態に合わせ、報告や依頼の機会を作る。 ・一人でできる自立課題と、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を用意する。
1 2 3	・考えて手や指を使おう ・言葉や数、文字をたくさん使ってみよう ・よく考えて答えよう、伝えよう ・高学年に向けて、できることを増やそう	○	・手指の操作に関わる活動 「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動 「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題 「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題 「助詞の使い方」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字・片仮名)など ・数につながる課題 「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の長さの測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。	・線なぞりや色、形、文字などの学習においてタブレット端末を活用し、個々に合わせた課題を用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名		3組	
ねらい		・言葉、文字、数量、形などについての基礎的な知識を身に付け、書字につながる手指の操作性を高める。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。					
担当教員		横井 翔太郎					
年間授業時数		109.8/260.8					
使用教科書		東京図書 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4	2年生の復習をしよう 新しい学習に挑戦しよう		・認知に関わる活動 ・文字につながる課題 ・数につながる課題	・20分程度着席し、自分から課題に取り組むことができる。 ・2年生で学んだ学習に取り組むことができる。 ・教員とのやりとりの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。		・児童が興味・関心のある教材をバランスよく取り入れる。 ・間違えずにできる自立課題を中心に用意をする。 ・既習した内容を踏まえつつスモールステップでステップアップしていく。	
5 6 7	よく見て手や指を使おう いろいろな言葉や文字、数を知ろう 自分から伝えよう	○	・手指の操作に関わる活動 「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動 「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習 「大小」「多少」 ・言葉につながる課題 「物の名称」「要求・依頼・報告」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「数の合成」 「足し算・引き算・掛け算・割り算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・形を見分けることができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数を合成することができる。 ・頭の中で数を操作し、計算ができる。			
9 10 11 12	よく見て手や指を使おう 使える言葉や文字、数を増やそう よく聞いて答えよう 本を選ぼう(図書)	○	・手指の操作に関わる活動 「ピンセット」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動 「分類」「型はめ」など ・概念に関わる学習 「高低・長短」 ・言葉につながる課題 「やり取り」(動詞・助詞を使って)など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「数の合成」 「足し算・引き算・掛け算・割り算」など ○図書	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・頭の中で数を操作し、計算ができる。 ・好きな本を選んで紹介することができる。		・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。 ・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組めるようなワークシステムを整える。 ・報告や依頼を徹底できるようにし、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を取り入れる。 ・年間を通して、活動の内容は大きく変えず、児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・指先を使う教材を用意し、手指の巧緻性を高める。 ・具体物の操作を行う中で、量概念を育てる。 ・筆記用具は、太さや長さに配慮する。 ・楽しい雰囲気できやり取りできるようにする。 ・最後に励みとなる課題を用意する。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。	
1 2 3	考えて手や指を使おう 言葉や数、文字をたくさん使ってみよう よく考えて答えよう、伝えよう 高学年に向けて、できることを増やそう	○	・手指の操作に関わる活動 「ピンセット」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動 「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題 「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題 「助詞の使い方」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題 「数の合成」「足し算・引き算・掛け算・割り算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・頭の中で数を操作し、計算ができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名		4組	
ねらい		・言葉、文字、数量、形などについての基礎的な知識を身に付け、書字につながる手指の巧緻性を高める。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。					
担当教員		高野 桃佳					
予定授業時数		109.8/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4 5 6 7	・よく見て手や指を使おう ・いろいろな言葉や文字、数を知ろう ・自分から伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動 「分類」「マッチング」など ・概念に関わる学習 「大小」「多少」など ・言葉につながる課題 「物の名称」「要求・依頼・報告」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「数唱」「数の合成」「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・形を見分けることができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成ができる。	・児童の興味・関心に 応じた教材・教具を 活用する。 ・課題をかごに入れて 用意しておき、終わ ったかごをフィニッ シュボックスに入れる 仕組みにすることで、 児童が一人で取り組 める環境を整える。 ・児童が主体的に、 一人でやりきることが できるよう、やり方や 手順などについて視 覚的手掛かりを用意 する。 ・筆記用具は、太さや 長さ、濃さに配慮す る。 ・児童の実態に合わ せ、報告や依頼の機 会を作る。 ・一人でできる自立 課題と、教員と一緒 に取り組むチャレンジ 課題を用意する。		
9 10 11 12	・よく見て手や指を使おう ・使える言葉や文字、数を増やそう ・よく聞いて答えよう ・本を選ぼう(図書)	○	・手指の操作に関わる活動 「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動 「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題 「高低・長短」など ・言葉につながる課題 「やり取り」(動詞・助詞を使って)など 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字)など ・数につながる課題 「順序」「数の合成・分解」 「足し算・引き算」など ・図書	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・好きな本を選び、紹介する。	・最後に励みとなるよ うな課題を用意する。 ・線なぞりや色、形、 文字などの学習にお いてタブレット端末を 活用し、個々に合わ せた課題を用意す る。		
1 2 3	・考えて手や指を使おう ・言葉や数、文字をたくさん使ってみよう ・よく考えて答えよう、伝えよう ・高学年に向けて、できることを増やそう	○	・手指の操作に関わる活動 「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動 「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題 「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題 「助詞の使い方」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字・片仮名)など ・数につながる課題 「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の長さの測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名		5組	
ねらい		・言葉、文字、数量、形などについての基礎的な知識を身に付け、書字につながる手指の巧緻性を高める。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。					
担当教員		○遠藤 理恵 東 桃子					
予定授業時数		109.8/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4 5 6 7	・よく見て手や指を使おう ・いろいろな言葉や文字、数を知ろう ・自分から伝えよう		・手指の操作に関わる活動 「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動 「分類」「マッチング」など ・概念に関わる学習 「大小」「多少」など ・言葉につながる課題 「物の名称」「要求・依頼・報告」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「数唱」「数の合成」「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・形を見分けることができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成ができる。		・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用する。 ・課題をかごに入れて用意しておき、終わったかごをフィニッシュボックスに入れる仕組みにすることで、児童が一人で取り組める環境を整える。 ・児童が主体的に、一人でやりきることができるよう、やり方や手順などについて視覚的手掛かりを用意する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・児童の実態に合わせた方法で報告することを徹底したり、依頼の機会を作ったりする。 ・一人でできる自立課題と、教員と一緒に取り組むチャレンジ課題を用意する。	
9 10 11 12	・よく見て手や指を使おう ・使える言葉や文字、数を増やそう ・よく聞いて答えよう ・本を選ぼう(図書)	○	・手指の操作に関わる活動 「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動 「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題 「高低・長短」など ・言葉につながる課題 「やり取り」(動詞・助詞を使って)など 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字)など ・数につながる課題 「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など ・図書	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・図書室で好きな本を選ぶことができる。		・最後に励みとなる課題を用意する。 ・線なぞりや色、形、文字などの学習においてタブレット端末を活用し、個々に合わせた課題を用意する。	
1 2 3	・考えて手や指を使おう ・言葉や数、文字をたくさん使ってみよう ・よく考えて答えよう、伝えよう ・高学年に向けて、できることを増やそう	○	・手指の操作に関わる活動 「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動 「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題 「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題 「助詞の使い方」など ・文字につながる課題 「運筆、視写」「書字」(平仮名・漢字・片仮名)など ・数につながる課題 「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の長さの測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。